

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年2月23日

事業所名: ひかりクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	広さは確保されており、各児童が活動できるスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	4	2	看護師不在時には他部署から応援を依頼している	配置上は問題ないが看護師・理学療法士が休みの時の対応を検討していく必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	毎月のミーティングにて話し合いがされており、関係する職員で話し合いがなされている。	内部だけの話し合いでは広い視点では見られないため、他部署等の意見も参考にしていけるようにしていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	4	保護者から意見があった場合には必要に応じて対応をおこなっている	アンケートのみを見ると意見等の記載が少ないため、改善には繋がっていない。意向等を記載していただけるよう働きかけていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	法人HPにて公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	施設内研修を毎月行っている	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	必要に応じてアセスメントを行いつつ、児童にあった計画を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	毎月のミーティングにて検討がなされ、実施している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	毎月のミーティングにて検討がなされ、実施している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	就業開始時に実施している	就業開始時間が異なる場合、他部署からの応援等にて連絡事項の不備が生じることがあるため改善をおこなっていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4		送迎の関係及び業務終了時間が異なるため、翌日の話し合いとなることが多い
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	記録・保管をしっかりと行っている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	毎月のMIにて実施している		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	参加依頼があった場合には参加させてもらっている	コロナ禍であり、多人数での会議等はあまり実施されていない
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	出来る限りの情報共有を行うように心がけている	学校側の情報提供が少なく、家族からの情報が主となっている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	看護師による報告や家族からの情報提供を基に実施している	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	依頼時には必要な情報提供を行っている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5		必要となる情報や研修等を受ける必要があると考えている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		近隣に施設がなく交流はない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	6		参加していない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時や必要に応じて電話連絡を行っている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4		アドバイス程度のことはあるが特別な支援は行っていない
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	重要事項説明書に記載しており必要に応じて説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	依頼があれば実施している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		実施していません
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2	苦情解決に向けた取り組みを実施している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	定期的に作成しご家族へお渡ししている	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	適切に管理させてもらっている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		コロナ禍であり外部の方を招くことは極力おこなっていない

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	4	BCP等の計画書の作成されており、施設内での閲覧が可能となっている	マニュアルは作成されているが熟知されているかは不安が残るため、研修等の実施が必要と考えている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	年2回の避難訓練を実施している	その他必要に応じて訓練を実施していく必要があると考える
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	身体拘束に該当する児童は現在利用していない。また計画書作成時や委員会にて話し合いがなされている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	医師・家族からの情報提供を基に支援をおこなっている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2		